

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、4,021件（373種類）であり、このうち件数の多かったものは、「障害者福祉についての法制度の拡充に関する請願」157件、「日本を海外で戦争する国にする戦争法案反対に関する請願」122件、「全てのウイルス性肝硬変・肝がん患者の療養支援とウイルス検診の推進に関する請願」98件、「腎疾患総合対策の早期確立に関する請願」90件、「難病と長期慢性疾病、小児慢性特定疾病の総合的な対策の充実に関する請願」78件などであった。

各委員会及び憲法審査会の付託件数は、内閣246件、総務14件、法務186件、外交防衛141件、財政金融292件、文教科学306件、厚生労働1,115件、農林水産33件、経済産業159件、国土交通197件、環境53件、災害対策50件、沖縄・北方1件、倫理選挙66件、復興原子力64件、平和安全707件、憲法391件であった。

請願者の総数は1,573万2,629人に上っている。

外交防衛委員会に付託した、いわゆる「平和安全法制関連法案」の関連請願については、7月24日我が国及び国際社会の平和安全法制に関する特別委員会が設置され、同27日に同法案が同委員会に付託されたため、8月7日同委員会に付託を変更した。

請願書の紹介提出期限は、当初、6月10日の議院運営委員会理事会において、会期終了日の7日前の同17日までと決定されたが、同22日の衆・本会議において95日間の会期延長が議決されたため、同25日から受理を再開した。延長後の紹介提出期限については、9月8日の議院運営委員会理事会

において、会期終了日の12日前の同15日までと決定された。

9月25日、各委員会及び憲法審査会において請願の審査が行われ、5委員会において377件（12種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで同日の本会議において「法務局、更生保護官署、入国管理官署及び少年院施設の増員に関する請願」外376件が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は9.4%であり、種類別による採択率は（採択数／付託数）は3.2%であった。